

最近、家電製品が最後を迎えるときは内部で小爆発のようなものが起きているのではないかと考えるようになった。というのも、テレビ番組で、あるコメンテーターの方がテレビが壊れたときの様子を語っているのを耳にしたからだ。

それによると、耐用年数はとっくに過ぎておりテレビの寿命がそろそろだなという気配を感じつつも使用していたところ、突然画面が暗くなりボンという控えめな爆発音のような音が聞こえ、それ以降テレビは使えなくなったというのだ。

私も似た経験がある。やはりテレビの内部からボンという音がしてそのまま使用不可となってしまった。そういえばドライバーもたまに使用中ボンボンと爆発音が頻発しパチパチ火花が飛び散り、焦げた臭いがしたので怖くなって買い換えた。そのときはさすがに怖くてドライバーの最後を見届けることはできなかった。

家電のその最後の様子はなんと線香花火の最後と似ているとか。内部のモーターがぐわんぐわん回っている音はまるで線香花火の最後の輝きである。そしてボンと燃え尽きるのである。これがもし超新星爆発のような散り際だったら大変なことになる。自分の家が吹っ飛ぶくらいならまだしもご近所まで吹っ飛ぶかもしれない。そこらへんのさじ加減はさすが日本製、うまくできている。でもたまたま大事に至らなかっただけの話で、本当は重大事故一歩手前だったのかもしれない。やはり怖いので耐用年数は守ろう。

ちなみに調査会事務局にはドライバーはないので爆発はとりあえず大丈夫のはず、あ、TVがあった。けっこう古いのが……。

(松澤紗織／規格部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「セキュリティ要求工学の実効性」については、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■セキュリティ要求工学は、今や工学、情報学のみならず、社会科学（特に法学）でも注目されつつある領域です。平易な解説で、大変参考になりました。（水野光朗）

■セキュリティはシステム開発でも必須の知識・スキルですので興味を持って読みました。広い範囲にわたっての話題になるので、運用・開発・ユーザ等の立場に応じて必要な技術の解説があると分かりやすいと感じました。（匿名希望）

■時代に即した記事でしたので、参考になりました。セキュリティ要求工学の重要性和問題点、解決方法などがまとまっており読みやすかったです。（匿名希望）

■今回の特集はなかなかよいタイミングだと思うが、全体を読んでみてなんとなく編集者独白の感想に同感という感じがした。（匿名希望）

■「セキュリティ要求工学の概要と展望」は、セキュリティ要求工学の位置付けが理解できる解説であった。（匿名希望）

■「セキュリティ要求工学」という学問を初めて知ったが、非常に重要であることが分かった。（匿名希望）

■今回はセキュリティ関連特集ということで、非常に参考になった。私自身、セキュリティを意識したプログラミングやネットワーク構築を今後は意識してやっていきたいと思うが、専門分野外なため、やや難しく感じてしまった。（匿名希望）

■セキュリティ要求工学の特集は、どれも有益な内容であり、興味を持って読むことができた。このあたりの技術は日進月歩であり、今後も継続的に最新の技術を報告してほしい。（匿名希望）

■特集記事は興味深く、また社会的に意義のあるものだったと思う。ただ、情報科学の専門家であっても、必ずしもセキュリティ等に明るいと限らないので、もう少々導入的な記事も入れるか、この特集に先立ってそういった内容のものを組んでもらうと、より良かったと思う。（匿名希望）

■セキュリティを実用でどう／どこまで使うかは難しい問題である。混沌とした状況を理論的に整理する手段として要求工学に注目している。いろいろな方法ができてきているので、比較評価し、用途別の推奨方法や判断基準を示すような記事があるとうれしい。（匿名希望）

■セキュリティが不完全なまま、大切な業務にネットワークを使わせるのは東洋の思想に合わない。きわめて野蛮で西洋的なやり方に思えて仕方がない。今月号のセキュリティ関係の記事を見て、実際にシステム設計に従事する者と記事を書かれた研究者の方々との乖離を強く感じます。進歩のためにはある程度の野蛮さは必要かもしれませんが、人類はいつまでも試行錯誤を続けてはならないと思うのは年寄りの考えでしょうか。セキュリティの専門家でないシステム設計ができないのはおかしい。（山本 登）

■内容が広範囲にまたがっているだけでなく、守る情報の価値が不定で、攻撃も予想によるもので、多くの不確実なことの上に成り立っているためか、今回の特集は何となく捉えどころがないように思えました。非常に多くの分析手法があるようですが、新しい攻撃方法が現れる中で、次第に洗練されたいくつかの手法に収斂していくことはあるのだろうかと思いました。（匿名希望）

解説「ネットワーク観測とマルウェア解析の融合に向けて—インシデント分析センター nicter の研究開発—」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■インターネット上に常時接続にて防災用の受信端末を運営しています。NICTのnicterの取り組みは分かりやすく参考になりました。さまざまなキャリア上で常時接続していると、通信障害が広域的に発生する事例に年数回出会います。そのような事例の背景に実際はどのようなことが起こっていたのかという情報を、プロバイダ以外の匿名ではない第三者へ開示するような仕組み、制度へとつながることを期待します。（匿名希望）

■とても興味深く読めた。「最近のマルウェアは……」という話には、大変驚いた。記事を読んでいて、「こんな動作にすれば……」という思いつきがいくつも浮かんでしまったが、この記事は公開してもよいレベルの過去のものなのだろうか。（匿名希望）

■分かりやすく興味深い内容でした。（匿名希望）

解説「プログラミング言語 Erlang の動向」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■現状のCPUマルチコア化の推進に伴い重要性が高まってきている並列処理指向の言語 Erlang についての記事は、非常に興味深く読めたとし、言語そのものについての興味も非常にそそられた。（匿名希望）

■ Erlang の記事についてとても興味を持って読ませていただきました。基本的な解説だけでなく、活用事例についてきちんと述べられていたのは良かったと思いました。

(匿名希望)

■ Erlang の動向について興味深く読ませていただきました。内容自体は薄いものであったが、日頃新しい言語にはなかなか手をつけられずにいるので、このような言語の説明を増やしてほしいです。

(匿名希望)

■現在の並行処理のトレンドから、Erlang が注目されていることが分かり、興味を持って読みました。概要を知ることができましたが、より詳細な言語の説明、Erlang 以外にも注目されている言語があれば、紹介してほしい。

(匿名希望)

■ Erlang の動向についての記事がとても興味深かったです。クラウドコンピューティング周りの活動が盛り上がっているため、マルチコアの恩恵を手軽に享受できる言語として注目していきたいと感じました。

(高野光弘)

■勉強不足の私にとって聞きなれない言語でしたが、読んでいるうちにもう少し勉強を試みたくなりました。

(匿名希望)



会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■電子署名の長期利用（証明書の期限切れへの対応）に関する記事をお願いしたい。

(匿名希望)

■マルチコアのような用途として活用できそうな GPGPU の話題や、Cell/B.E. のようなアーキテクチャについての話題が気になっています。

(高野光弘)

■自然言語か音楽。

(匿名希望)

■モニタになって会誌を読み、浦島太郎の気持ちになったのは否めません。と申しますも私は情報関係の仕事に就いておらず、情報は手段であって専門ではないためです。最近の会誌は聞きなれない専門用語も多く、なかなか全部に目を通せませんが、モニタになり最近の情報の世界を垣間見ることができました。

(匿名希望)

■OMA (Open Mobile Alliance) の標準化活動に関する紹介記事を希望します。なお、標準化活動の紹介全般に言えることですが、単なる事務的な内容（何々の標準がどここの総会で承認された、等）ではなく、技術的な内容の紹介（特にその標準が何のために必要なのか）を期待します。

(匿名希望)

■GPU 利用プログラミングの入門講座。何回かに分けて掲載していただければと思います。

(匿名希望)

【本欄担当 柳井啓司、内澤 啓／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2009年				
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム (III)」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-T.html	7月1日 (水)		
6月18日 (木) ~ 6月19日 (金)	第139回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DPS139.html	4月17日 (金)	当日のみ	静岡県立大学
6月25日 (木) ~ 6月26日 (金)	Visual Computing/ グラフィクスとCAD 合同シンポジウム 2009 http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/vc2009/	3月9日 (月)		旭川市勤労者福祉 総合センター
6月26日 (金)	第22回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/GI22.html	5月11日 (月)	当日のみ	岩手県立大学 滝沢キャンパス
6月27日 (土)	第6回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/IOT6.html	4月20日 (月)	当日のみ	東京農工大学 小金井キャンパス
7月2日 (木)	東海支部講演会「視覚の数理—だまし絵と立体錯視」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/			名古屋大学
7月2日 (木) ~ 7月3日 (金)	第46回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CSEC46.html	5月11日 (月)	当日のみ	秋田大学 手形キャンパス
7月2日 (木) ~ 7月3日 (金)	第165回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SE165.html	5月18日 (月)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院 院大学
7月4日 (土)	第100回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE100.html	5月15日 (金)	当日のみ	東京大学 (東京都目黒区)
7月8日 (水) ~ 7月10日 (金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2009) シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DICOMO2009.html	3月13日 (金)	6月8日 (月)	別府温泉 杉乃井ホテル
7月9日 (木) ~ 7月10日 (金)	第65回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AVM65.html	5月20日 (水)	当日のみ	小樽市民会館
7月13日 (月) ~ 7月14日 (火)	第135回グラフィクスとCAD 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CG135.html	5月11日 (月)	当日のみ	日本SGI (恵比寿)
7月16日 (木) ~ 7月17日 (金)	第23回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/UBI23.html	5月15日 (金)	当日のみ	国際電気通信基礎技術 研究所 (ATR)
7月16日 (木) ~ 7月17日 (金)	第134回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/HCI134.html	5月22日 (金)		フォレスト鳥海 (秋田県)
7月17日 (金) ~ 7月18日 (土)	第77回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLP77.html	5月20日 (水)	当日のみ	福島県飯坂温泉
7月20日 (月) ~ 7月24日 (金)	SAINT2009 The 2009 Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/			Seattle, USA
7月21日 (火)	連続セミナー 2009「進化する組込みシステム技術」 第2回 組込みソフトウェアプラットフォーム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/			東京電機大学神田キャン パス7号館1F 丹羽ホ ール
7月21日 (火)	第125回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AL125.html	5月18日 (月)	当日のみ	東北大学 青葉山キャンパス
7月22日 (水) ~ 7月23日 (木)	第192回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/NL192.html	5月22日 (金)	当日のみ	北見工業大学 (北海道)
7月23日 (木) ~ 7月24日 (金)	第14回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/EMB14.html	5月25日 (月)	当日のみ	南山大学 サテライトキャンパス
7月25日 (土) ~ 7月26日 (日)	第83回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CH83.html	3月19日 (木)	当日のみ	帝塚山大学 東生駒キャンパス
7月28日 (火)	第148回データベースシステム・第95回情報学基礎合同研究 発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DBS148FI95.html	5月28日 (木)	当日のみ	神戸ファッション マート
7月29日 (水) ~ 7月31日 (金)	第81回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/MUS81.html	5月29日 (金)	6月末頃の予定	飯坂温泉 (福島県)
7月30日 (木) ~ 7月31日 (金)	第72回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DD72.html	5月20日 (水)	当日のみ	秋田大学
8月20日 (木) ~ 8月21日 (金)	平成21年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/2008/kenkyu/kenkyu25.html	6月12日 (金)		東北文化学園大学 (仙台市・青葉区)
8月20日 (木) ~ 8月21日 (金)	第136回グラフィクスとCAD 研究発表会 (夏の集中研究集会) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CG136.html	6月19日 (金)	詳細はご案内の ページをご覧ください	富士Calm
8月26日 (水) ~ 8月27日 (木)	DA シンポジウム 2009—システム LSI 設計技術と DA— http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/S-DA2009.html	5月13日 (水)		ホテルアローレ (石川県)
9月2日 (水) ~ 9月4日 (金)	FIT2009 第8回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2009/			東北工業大学 八木山キャンパス
9月7日 (月) ~ 9月9日 (水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2009 (SES2009) http://ses2009.minnie.ai.kyutech.ac.jp/	6月29日 (月)		東京女子大学
9月8日 (火)	連続セミナー 2009「進化する組込みシステム技術」 第3回 組込みハードウェアプラットフォーム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/			東京電機大学神田キャン パス 11号館 17F カシ オホール (大会議室)
9月10日 (木) ~ 9月11日 (金)	平成21年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www.ieice.org/tokai/rengo/index.html	7月6日 (月)		愛知工業大学
9月15日 (火)	第126回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AL126.html		当日のみ	鳥取環境大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月17日(木)	第18回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/BIO18.html		当日のみ	北海道大学 学術交流会館
10月7日(水)	連続セミナー2009「進化する組込みシステム技術」 第4回 プラットフォーム時代の組込みアプリケーション開発 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/			東京電機大学神田キャンパス7号館1F丹羽ホール
10月7日(水)～ 10月9日(金)	第17回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2009) http://www.dpsws.org/	6月26日(金)		層雲閣グランドホテル (北海道層雲峡温泉)
10月10日(土)	第101回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE101.html	8月21日(金)	当日のみ	大阪市立大学 (大阪府大阪市)
10月28日(水)～ 10月30日(金)	IWSEC2009 International Workshop on Security http://www.iwsec.org/2009/			富山国際会議場
11月11日(水)	連続セミナー2009「進化する組込みシステム技術」 第5回 組込みシステムの高信頼性-V&V http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F丹羽ホール
11月13日(金)～ 11月15日(日)	第14回ゲームプログラミングワークショップ2009(GPW-09) http://sig-gi.tanaka.ecc.u-tokyo.ac.jp/		定員になり次第	箱根セミナーハウス
12月4日(金)	連続セミナー2009「進化する組込みシステム技術」 第6回 組込み基盤ソフトウェアの課題 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/index.html		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F丹羽ホール
12月11日(金)～ 12月12日(土)	第102回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE102.html	10月23日(金)	当日のみ	広島大学 (広島県東広島市)
2010年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/	2月28日(日)		
3月6日(土)～ 3月7日(日)	第103回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE103.html	1月15日(金)	当日のみ	筑波大学 (東京都文京区)
3月9日(火)～ 3月11日(木)	情報処理学会創立50周年記念(第72回)全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/72kai/			東京大学 本郷キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報(5月)更新しました
- 5月7日 情報処理学会第53回通常総会のご案内
- 4月28日 JSTからの委託により作成した「Webラーニングプラザ」の教材(オペレーティングシステム, デジタル回路)が公開されました
- 4月21日 アドバイザリーボード提言への対応施策に関するご意見への回答を公開しました

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授または准教授 いずれか1名
専門分野 ロボティクスに関連した情報工学分野(産業応用・遠隔操作ロボット、医療福祉ロボット、人工知能等の分野のロボットの研究を含む)実験系の研究、開発
担当科目 知能ロボット工学、ヒューマンインタフェース、Technical Writing、コンピュータグラフィクス、情報処理工学実験
応募資格 専門分野の研究業績があり、以下の各項に該当する方
(1)博士の学位を有する方
(2)大学院の教育、研究指導が可能な方
(3)教育歴のあることが望ましい(備考：本学は65歳定年です)
着任時期 平成21年10月1日
提出書類 履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること。外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること)、主要論文別刷(5編程度)、これまでの研究概要と今後の研究計画、教育歴(これまでの担当科目や教育改善の取り組み、オープンキャンパスなどでの展示、出前講義などについてもあれば記載すること)、教育に対する抱負(JABEE認定を含む、1000字程度)
*紙での提出のほか、電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください
応募締切 平成21年6月22日(必着)
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
照会先 情報システム工学科 学科長 高崎佳明 E-mail:takasaki@fit.ac.jp Tel(092)606-5704 (ダイヤルイン)
Fax(092)606-0754 (学科事務室)

■国立天文台 ALMA 推進室

募集人員 特定契約職員(専門研究職員) 2名
専門分野 国立天文台で推進している日米欧国際共同プロジェクトALMAのComputing開発業務、特に分散オブジェクト環境ソフトウェアあるいは観測データアーカイブシステムの構築
•分散オブジェクト環境の開発・改良
•ハードウェア・ソフトウェアを含むアーカイブシステムの構築・管理
•米欧ALMAが作成した文書の調査、ソースコードの解読
なお、仕事を進めるにあたり米欧の開発者との英語によるコミュニケーションが必要
応募資格 少なくとも1つの高級言語(C、C++、Java、Pythonなど)に堪能なこと。アーカイブシステムに応募する方はSQLに堪能なこと、XML、CORBAなどの知識があれば、より好ましい。英語に堪能なこと(TOEIC800点以上または英検準1級以上相当)
着任時期 平成21年8月1日
提出書類 履歴書、計算機に関するこれまでの経験を含め抱負をまとめた文章(A4用紙2枚程度)、できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(複数可)
応募締切 平成21年6月30日(17時必着)
送付先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 ALMA推進室長 立松健一
照会先 ALMA推進室 小杉城治 E-mail:george.kosugi@nao.ac.jp
その他 詳細はWebページ(<http://www.nao.ac.jp/>)の「採用情報・研究公募」を参照ください

■青山学院大学理工学部経営システム工学科

募集人員 教授または准教授 3名
 専門分野 経営工学(経営管理, IE・生産管理, 情報処理の3分野から各1名)
 応募資格 博士の学位を有し, 学部および大学院の教育・研究に熱意のある方, 専門分野について優れた業績を有する方, キリスト教に理解のある方, 相模原と青山の両キャンパスに出講できる方
 着任時期 平成22年4月1日
 提出書類 Webページ (http://www.aoyama.ac.jp/other/recruit/faculty_staff_29.html) をご覧ください
 応募締切 平成21年7月13日(消印有効)
 送付先/照会先 〒229-8558 神奈川県相模原市淵野辺5-10-1 青山学院大学理工学部経営システム工学科 学科主任 天坂格郎
 E-mail:saiyo@ise.aoyama.ac.jp

■大阪府立大学大学院工学研究科電気・情報系専攻知能情報工学分野

募集人員 教授 1名
 専門分野 知的信号処理(パターン認識, 位相情報処理等に基づくリモートセンシング, 騒音下での信号分離, 匂い情報処理等)
 担当科目 (大学院)システム信号処理特論など
 (学部)信号処理論, 情報数学
 応募資格 博士の学位を有し, 博士前期課程および博士後期課程の教育研究指導を担当できることに加え, 学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しない方
 着任時期 平成22年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書(工学研究科様式1により作成), 研究業績等(工学研究科様式2により作成, ただし, 外部資金については, 過去5年間のものを記入), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 提出した主要論文の概要(各200~400字で作成, 様式不問), これまでの研究概要(1000字程度で作成, 様式不問), 採用後の研究計画および教育に関する方針(1000字程度で作成, 様式不問), 推薦書1通, もしくは応募者の業績等について意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成21年7月15日(必着)
 送付先 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 公立大学法人大阪府立大学総務部人事課
 「工学研究科電気・情報系専攻知能情報工学分野応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 知能情報工学分野 教授 市橋秀友 E-mail:ichi@cs.osakafu-u.ac.jp Tel:(072)254-9352
 その他 【選考方法】書類審査, 必要に応じてプレゼンテーションおよび面接を実施
 詳細はWebページ (http://www.osakafu-u.ac.jp/information/staff_01.html) をご覧ください

■中央大学理工学部情報工学科

募集人員 准教授または助教A(身分呼称改訂前の専任講師) 1名
 専門分野 情報数理, ソフトウェア全般
 担当科目 情報工学科専門科目から応募者の専門に応じて, いくつかの学部授業科目・演習(通常前後期各2~3科目), および学部の卒業研究指導と大学院博士前期・後期課程の授業科目(通常前期課程授業科目は前後期各1科目). 加えて, 准教授の場合には博士前期課程の研究指導
 応募資格 (1)情報工学に関連する博士の学位を有する方, または着任時までに取得見込みの方
 (2)准教授の場合には, 博士前期課程の研究指導ができる方
 (3)私立大学における教育・研究および学科運営に熱意を持って取り組める方
 着任時期 平成22年4月1日
 提出書類 履歴書(様式自由, 技術者関連資格を有する場合には記載すること), 研究業績リスト(著書(編書・翻訳書も含む)・有査読学術雑誌論文・有査読国際会議論文・特許およびその他の5種類に分類の上, 最近のものから順に記載), 主要論文別刷(3編程度, コピー可), 学会・社会活動リスト, 教育・研究の計画と抱負(10ポイント以上のフォントでA4用紙2枚以下), 応募者の業績および人物の照会が可能な方2名の氏名・連絡先
 応募締切 平成21年7月24日(必着)
 送付先 〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27 中央大学理工学部情報工学科 主任 今井桂子
 「教員公募書類」と朱書き書留または簡易書留(直接の持込はご遠慮ください) *応募書類は返却いたしません. 選考終了次第, 当方で責任をもって処分いたします
 照会先 情報工学科 主任 今井桂子, 副主任 久保田光一
 E-mail:koubo2010@ise.chuo-u.ac.jp (E-mail以外での問合せはご遠慮ください)
 その他 Webページ (<http://www.ise.chuo-u.ac.jp/>)
 選考の過程で, 照会・面接・セミナー形式での発表等をお願いすることがありますので, ご了承ください

■東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻

募集人員 教授 1名
 所 属 知的通信ネットワーク工学講座
 専門分野 音声言語を主な対象にして、認識、理解および通信するアルゴリズムと、それらを基にしたマン・マシンインタフェースの構築法に関する研究と教育
 担当科目 音メディア工学、パターン認識論、音響工学、コミュニケーション工学A、コミュニケーション工学Bなど
 応募資格 応募時に博士の学位を有すること。国籍は問わないが日本語および英語で的確に意思の疎通ができ、かつ日本語で学生を指導できる能力を有すること
 着任時期 平成22年4月1日以降のできる限り早い時期
 提出書類 履歴書、これまでの研究歴およびその概要（文中で研究業績リストの番号を引用してください）、研究業績リスト（学術論文、国際会議論文、解説記事、著書、特許、受賞、学会・社会における活動状況、代表あるいは分担者としての研究費獲得状況、その他の特記事項に分類して作成すること）、主要論文別刷（5編、コピー可）およびそれらの概要、教育実績、今後の教育・研究に対する抱負（1000字程度）、応募者の能力や人柄を評価できる方2名の氏名・所属・職名・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス *A4用紙に横書き、項目ごとに別葉
 応募締切 平成21年8月21日（必着）
 送付先/照会先 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05 東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 専攻長 濱島高太郎
 E-mail:hamajima@ecei.tohoku.ac.jp Tel(022)795-7043 Fax(022)263-9371
 「公募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません

■熊本電波工業高等専門学校人間情報システム工学科

募集人員 助教 1名
 所 属 人間情報システム工学科（新設。本校は平成21年10月1日をもって国立熊本高等専門学校に高度化再編されます）
 専門分野 計算機ネットワーク・計算機工学・ソフトウェア工学に関する分野
 担当科目 情報工学に関する基礎科目および実験・演習
 応募資格 博士号取得者（見込みを含む）で、高専の教育・研究・学生指導に理解と熱意を持つ方
 着任時期 平成22年4月1日
 提出書類 履歴書（A3用紙自筆）、著書・論文等一覧（様式）、主要著書・論文等の概要（様式）、主要論文別刷、高専の教育・研究に携わる抱負（A4用紙1000字以内）、推薦書（A4用紙）
 応募締切 平成21年8月31日（必着）
 送付先 〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2 熊本電波工業高等専門学校 熊本地区事務部管理課・人事担当 Tel(096)242-6015
 「人間情報システム工学科教員公募」と朱書き簡易書留
 照会先 情報工学科長 村上 純 E-mail:jun@knct.ac.jp Tel(096)242-6102
 その他 【選考方法】書類審査、およびその合格者に対して面接（得意分野のプレゼンテーションを含む）
 詳細は本校Webページ（<http://www.knct.ac.jp/>）を参照ください

■芝浦工業大学工学部共通学群（情報）

募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 広く情報関連の分野であれば特に問わない
 担当科目 情報リテラシー、情報処理概論、情報処理演習、C言語入門
 応募資格 博士の学位を有する方で、教育・研究に熱意があり、特に情報処理教育の経験のある方
 着任時期 平成22年4月1日
 提出書類 履歴書（学歴、職歴、学会および社会における活動など、署名、捺印）、研究業績などのリスト（次のように分類：学術論文（国際会議を含め査読ありとなしを区別）、口頭発表、著書、その他、特許、実用新案、受賞など）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、教育歴の概要と今後の教育に対する抱負（1000字程度）、今後の研究計画（1000字程度）、推薦書および応募者の所見を得られる方の氏名と連絡先（2名）
 応募締切 平成21年8月31日（必着）
 送付先/照会先 〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307 芝浦工業大学工学部共通学群（情報） 教授 藤井 亀
 E-mail:fujii@shibaura-it.ac.jp Tel(048)687-5734 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *応募書類は原則として返却いたしません

■龍谷大学工学部情報メディア学科

募集人員 教授・准教授または講師 1名
専門分野 情報工学・情報科学を基盤とし、情報分野の技術に関して、自由な発想のもとに学際的かつ多面的にアプローチでき、教育に熱意のある方を望む
応募資格 大学等設置認可申請に係る教員の資格審査に合格する業績等を有し、大学院において研究指導できること
着任時期 平成22年4月1日
提出書類 応募区分の記載(応募する職名の区分)、履歴書、文部科学省教員審査歴のある方は受けた当時の大学・学部・学科・科目名称等を記入または関係資料を添付、研究業績リスト(研究論文、速報、国際会議発表論文、著書、解説論文、特許、外部資金等に分けて記載)、主要論文もしくは著書(コピー可)、現在までの研究歴と研究業績説明文(2000字以内)、着任後の教育に対する抱負(2000字以内)、応募者について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先ならびに応募者との関係
応募締切 平成21年8月31日(必着)
送付先/照会先 〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学工学部情報メディア学科 岡田至弘
 E-mail:okada@rins.ryukoku.ac.jp Tel(077)544-7132
その他 Webページ(http://www.ryukoku.ac.jp/employment/090831_sci-tech.html)をご参照ください

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部・研究科情報システム構築学講座

募集人員 准教授または講師 1名
所属 岩手県立大学ソフトウェア情報学部および研究科
専門分野 情報システム開発技法、ソフトウェア開発手法、情報システム技術、情報システムの応用、プロジェクト管理
担当科目 学部・大学院の「情報システム関連科目」ならびに講座内の演習指導および修論・博論指導
応募資格 以下の条件を満足する方
 (1)上記の専門分野において博士の学位を有する方、または着任までに学位取得見込みの方
 (2)大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導に当たれる方
着任時期 平成22年4月1日(予定、それ以前の着任可)
提出書類 履歴書(学歴・職歴・学会活動・受賞歴などを含む)、研究業績リスト(著書・学位論文・学術論文・国際学会発表論文等に分類)、学位論文(コピー可)、主要著書・学術論文別刷(コピー可)と学位取得証明書、教育または職歴に関する業績および教育に関する見解(1000字程度)、参考となる意見を伺える方2名からの推薦状と連絡先
応募締切 平成21年9月30日
送付先 〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 菅原光政
 「情報システム構築学講座教員応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先 ソフトウェア情報学部事務室 E-mail:softjimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500(ダイヤルイン)
その他 選考にあたっては書類・業績審査後、面接を実施し決定します。選考結果は応募者ご本人に通知します。

FIT2009 第8回情報科学技術フォーラム 聴講参加事前予約並びに講演論文集販売の御案内

FIT2009Web サイト: <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2009/>

情報処理学会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)とは2002年から合同で毎年秋季にFIT(Forum on Information Technology)を開催しており、2009年9月には第8回目を東北工業大学 八木山キャンパスで開催致します。

つきましては、聴講参加事前予約並びに講演論文集、DVD-ROM販売の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期: 2009年9月2日(水)～4日(金)
会 場: 東北工業大学八木山キャンパス(仙台市太白区八木山香澄町35-1)
交 通: 仙台駅よりバス25分 東北工大八木山キャンパス下車
※お車での御来場は御遠慮下さい。
アクセス<http://www.tohtech.ac.jp/access/index.html>

■開催イベント企画【予定】

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2009Webサイトに掲載致します)

- ・船井業績賞特別講演
3日14:00-15:15 第1イベント会場(9号館3F 937 totech Hall)
「並列オブジェクト,仮想世界,超並列計算」米澤明憲(東大)
 - ・特別基調講演
3日15:30-16:30 第1イベント会場(9号館3F 937 totech Hall)
「垂直磁気記録・その開拓と実現」岩崎俊一(東北工大)
 - ・FIT2009論文賞セッション
2日10:00-16:00 第3イベント会場(1号館3F 132)
 - ・FIT学術賞表彰式
3日13:00-13:50 第1イベント会場(9号館3F 937 totech Hall)
- [企画]
- 第1イベント会場(9号館3F 937 totech Hall)
2日 9:30-12:00 街中を移動する人によるセンシング
2日13:00-15:00 マルチメディア情報ハイディングの最新応用技術と今後の展望
2日15:30-17:30 ウェアラブルコンピュータの応用と可能性
3日 9:30-12:00 ロボットの運動と視覚における新たな展開
-脳神経科学との融合-
 - 4日 9:30-12:00 Data Intensive Computingの現状と未来
-情報爆発時代におけるコンピューティングとクラウド-
 - 4日13:00-16:00 先進予防健康社会の実現を目指したセンサ技術とネットワーク技術
 - 第2イベント会場(1号館3F 131)
2日 9:30-12:00 アルゴリズム・サイエンスにおけるゲーム理論の新展開
2日13:00-17:30 第13回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
3日 9:30-12:00 膨大な映像コンテンツを、いかに処理して、どのように応用するのか?
3日15:30-17:30 次世代を担う若い情報・システム研究開発者を迎えて
-気鋭の若手研究者とベテラン研究者の熱い議論-
 - 4日 9:30-12:00 ユビキタスWeb実現に必要な技術標準化
4日13:00-16:00 lifelogを情報システムに -収集から活用へ-
 - 第3イベント会場(1号館3F 132)
3日 9:30-12:00 21世紀はベクトルコンピューティングの時代!?
-パーソナルスーパーコンピューティングからベータスケールスーパーコンピューティングまで-
 - 3日15:30-17:30 教育現場での異文化間コミュニケーションを支える情報技術
4日 9:30-12:00 ポストH.264/AVC: 次世代映像符号化標準へむけた取り組みと今後の展望
4日13:00-16:00 サイバーワールドとリアルワールドとの接点
-家庭に"入り込む"映像メディアの新展開-

■聴講参加費(税込)

参加区分	事前予約(7/10まで)	当日
会 員	8,000円	10,000円
非会員	17,000円	20,000円
学生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費はプログラム・参加章・DVD-ROMを含む。
※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通り。
会員: 情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、KICS、KIISE、IEEE/Com. Soc.、IEEE/LEOS、IEEE/EDS、IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、

CSI)の個人会員に限りです。
非会員: 上記の学会会員以外の方。
学生: 会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。
社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■懇親会

開催日時: 9月3日(木) 18:00を予定
会 場: 東北工業大学八木山キャンパス4号館B1F食堂
参加費(税込): 社会人 5,000円, 学生 2,000円
※すべて当日の受付(支払い)となります。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格(税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円	15,000円
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※セットはDVD-ROM、講演者索引、カバー付き
※分冊は第1～4分冊の予定
※DVD-ROMにはプログラム及び全分冊収録
※学生の方は、会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

■講演論文集の掲載分野(分冊構成)【予定】

- 第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
- 第2分冊: データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
- 第3分冊: 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育学・福祉工学・マルチメディア応用
- 第4分冊: ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
- ・DVD-ROM: 上記全論文とプログラムを収録
(著者、所属、キーワードによる索引付き)
※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へ掲載されます。

■聴講参加事前予約・講演論文集・DVD-ROMの申込み・送金方法

申込〆切: 平成21年7月10日(金) 必着
申込方法: FIT2009Webサイトからお申込み下さい。
聴講参加事前予約者の方、講演論文集セットまたは分冊を申し込んで受取り方法を「会場で受取」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総受付に御呈示下さい。
受取方法: 講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場渡し」または「FIT終了後郵送(10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。
DVD-ROM(セット付属のものは除く)はすべて事前発送となります。
送金方法: 申込〆切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。
送金は以下のいずれかの方法でお願い致します。
(1)郵便振替で送金の場合: 申込〆切後にお送りします郵便振替用紙をご利用のうえお振込み下さい。
(2)銀行振込みで送金の場合: 振込人名を「FIT2009-請求書番号-氏名」として以下の口座へお振込み下さい。
三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金 7636858
口座名義: 社団法人情報処理学会
※振込みが完了されましたら、同封の「送金連絡票」に振込み情報を御記入のうえ、以下の申込先へFAXにてお送り下さい。
同封の郵便振替用紙でお振込の場合にはFAX返信は不要です。
※FIT会場でのお支払いは一切お受け致しませんので御了承下さい。すべて振込でお願い致します。
送金期日: 平成21年10月30日(金)

■次年度のFIT2010開催

平成22年9月 九州大学 伊都キャンパスにて開催予定

■問合せ先

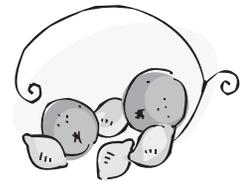
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
社団法人 情報処理学会 事業部門
TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375
E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

2009 年度 画像符号化シンポジウム (PCSJ2009), 映像メディア処理シンポジウム (IMPS2009) 開催案内

画像符号化シンポジウム (PCSJ) と映像メディア処理シンポジウム (IMPS) は昨年に引き続き修善寺の美しい自然の中にある施設を会場とし、以下のように開催することとなりました。また、シンポジウムでの発表を中心に、電子情報通信学会和文論文誌 D においてレター特集号を計画しておりますので、是非ご投稿、ご参加頂きたくご案内申し上げます。

- 【 日 時 】 2009 年 10 月 7 日 (水) 午後 ~ 9 日 (金)
- 【 会 場 】 ラフォーレ修善寺 (静岡県伊豆市大平 1529) TEL. 0558-72-3311
- 【 交 通 】 伊豆箱根鉄道修善寺駅から車で 20 分
- 【 講演内容 】 画像符号化, 映像メディア処理に関する口頭発表・ポスター発表, 特別講演, パネル討論等
- 【 申込締切 】 講演を申し込まれる場合 7 月 17 日 (金)
割引料金 ※ で聴講参加される場合 9 月 25 日 (金)
※9 月 26 日以降の聴講申込は若干高額となります。
- 【 問 合 先 】 NTT サイバースペース研究所 高村誠之
E-mail : pcsj-imps2009@lab.ntt.co.jp TEL. 046-859-2371 FAX. 046-859-2829
なお, 詳細な開催案内, 申込方法などに関する情報を以下の WWW サイトで提供しております。

PCSJ, IMPS ホームページ <http://www.pcsj-imps.org/>
- 【 主 催 】 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会
- 【 共 催 】 映像情報メディア学会メディア工学研究委員会・画像電子学会・
情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.50 No.6 (June 2009)

【一般論文】

- ドビー織機の綜統枠数最小化問題に対する集合被覆アプローチ
松浦 勇 他
- 安定したストリーム配信を実現するオーバーレイマルチキャストプロトコルの設計と PlanetLab 上での実証実験* 池田和史 他
- デジタルフォレンジックを目的としたファイル分散保存システムの実装および評価 東森ひろこ 他
- 低周波振動の伝播を利用した屋内での作業道具の位置検出手法 柳沢 豊 他
- Wearable Toolkit : その場プログラミング環境実現のためのイベント駆動型ルール処理エンジンおよび関連ツール* 寺田 努 他
- 発音時間の揺らぎを利用した SMF ステガノグラフィ 山本紘太郎 他
- ダミーアドレスからの接続ントレースバックによるワーム早期抑制手法 稲場太郎 他

- 日本語単語分割の分野適応のための部分的アノテーションを用いた条件付確率場の学習 坪井祐太 他
- 動的なトピック分類に基づく Novelty を考慮した推薦アルゴリズムの提案 小川祐樹 他
- トピックモデルに基づく文書群の可視化 岩田具治 他
- 同等ラベル解析に基づく 1 回走査ラベル付けアルゴリズム 巢 宇燕 他
- Rendering Translucent Materials with Plane-parallel Solution Mikio Shinya 他
- 施設ミュージアム来館者におけるデジタルコンテンツの影響とその評価 星野浩司 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

ご意見をお寄せください！

【7月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5006.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号（2009年6月号）の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 50周年と新たな旅立ち 10-1-
- 特集：科学技術計算におけるソフトウェア自動チューニング
1. ソフトウェア自動チューニングの枠組み 10-2-
2. ソフトウェア自動チューニングの研究動向 10-3-
3. ソフトウェア自動チューニングの数理 10-4-
4. ソフトウェア自動チューニング記述のための計算機言語 10-5-
5. ソフトウェア自動チューニングのための支援ツール 10-6-
6. 自動チューニング機能付き数値計算ライブラリ 10-7-
7. 自動チューニングの適用事例：量子化学計算と信号処理 10-8-
8. 並列反復法と自動チューニング 10-9-
9. MPI 通信ライブラリの自動チューニング 10-10-
10. GPU コンピューティングにおけるソフトウェア自動チューニング 10-11-
- Web を用いた慢性疾患診療支援の取り組み 10-12-
- 3次元形状情報を用いた顔認識 10-13-
- 次世代画像圧縮技術研究の方向性 10-14-
- 特集：研究会推薦博士論文速報 10-15-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

「科学技術計算におけるソフトウェア自動チューニング」の企画は2007年暮れから検討が始まりました。この間にも、マルチコアからクラウドコンピューティング、仮想化など、さまざまな構成の計算機環境が普及し、高パフォーマンスを達成するには熟練した技術や知識が必要になってきました。神戸で開発中の次世代スパコンは、数十万以上のマルチコアの利用が想定され、人手ではもはやチューニングできない領域にも達しつつあるようです。こういった中で、本特集で扱った「ソフトウェア自動チューニング」の技術は、我々IT技術者にとって、パフォーマンスの向上に欠かせない大変重要で魅力あるものになってきています。本特集を通じて「自動チューニング」への

理解が深まり、読者の皆さまの今後の研究開発のお役に立てば幸いです。

最後に、本特集の編集にあたり著者の皆さまには多大なご協力をいただきました。私自身、この分野に詳しくない、一般的な読者として本特集を読ませていただき、非常に勉強になりました。また「編集にあたって」は高度な内容も含まれましたが丁寧に平易にご説明いただき、大変感謝しております。エディタの片桐先生、著者の皆さまにこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

(川西隆仁／本特集エディタ)

次号（7月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ライフログ

ライフログ経験：センサが人生を変える／食事ログからの展望／プライバシー保護を考慮したケータイ行動ログの利活用について／ケータイ・ライフログとしての実空間プロフィールと流通・管理技術／ライフログに基づく実世界でのコンテンツ利活用／医療におけるライフログの応用可能性

「小特集」「あの頃」の情報処理に想いをはせて

出版を通じての御貢献—そこにはいつも、先生の本がありました／WIDE project 夜明け前とインターネットの黎明（仮）／INET91, ISOC, INTEROP, IAJ—石田晴久先生とともに／「情報処理」大変革の夜明け前／情報化時代の幕開け

解 説

LSI 3次元実装技術の最新動向 栗田洋一郎

報 告

平成20年度論文賞の受賞論文紹介 柴山悦哉 他
 平成20年度長尾真記念特別賞紹介 喜連川優 他
 平成20年度喜安記念業績賞紹介 土井美和子 他

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会
 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
 なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
 Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
 E-mail: info@jaacc.jp
 Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 50巻6号 掲載広告（五十音順）

- | | | | |
|---------------------------------------|------|---------------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> インタフェース..... | 表4 | <input type="checkbox"/> 培風館..... | 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> オーム社..... | 表2対向 | <input type="checkbox"/> 兵庫教育大学..... | 前付最終下 |
| <input type="checkbox"/> サイエンス社..... | 目次前 | <input type="checkbox"/> マイクロソフト..... | 同封 |

すべての会社を希望

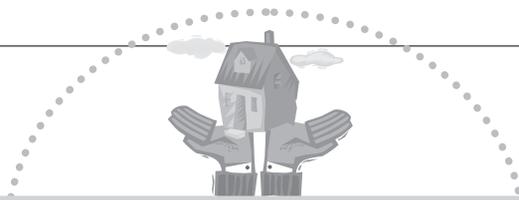
■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)	_____	
TEL	(_____)	-	FAX (_____) -
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)

impress IT

(株) インプレス IT

uejima SONY

(株) うえじま企画

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニューズウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

楽R天

楽天 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375